

## 弾道ミサイル飛来・落下時の対応

### <事前準備>

- 1 生徒等に対し，弾道ミサイル飛来に伴う行動等について指導する。
  - (1) 弾道ミサイルの特徴
    - ・弾道ミサイルは発射から短時間で着弾すること。（発射からわずか10分以内で着弾）
    - ・ミサイル着弾時には爆風や破片などによる被害が想定されること。
  - (2) 弾道ミサイル飛来等に関する緊急情報の発信について
    - ・全国瞬時警報システム（Jアラート），防災行政無線等があること。
  - (3) 発生時の行動方法について
    - ・状況を判断し，自ら身の安全を確保できるように落ち着いて行動すること。
- 2 避難訓練を実施する。
  - 避難する場所については，次のとおりとする。
  - (1) 屋外にいる場合
    - ・速やかに屋内に移動し，教室で待機する。
  - (2) 屋内にいる場合
    - ・窓側のカーテンを閉めてできる限り窓側に近づかないよう，その場所で待機する。
- 3 行動方法や学校の対応等については，緊急情報メールおよび文書等を配付し，保護者に対しても周知し共通理解を図っておく。

### <発生時>

- 1 ミサイルの発射情報（Jアラート・防災行政無線）の後，避難メッセージが流れたら
  - (1) 在校時
    - ①屋外にいる場合
      - ・速やかに教室等の屋内に避難する。
      - ・屋内に避難できない場合は，物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
    - ②屋内にいる場合
      - ・窓のカーテンを引き，できるだけ窓から離れる。
  - (2) 登下校時
    - ①屋外にいる場合
      - ・近くの建物（できれば頑丈な建物）の中，又は地下に避難する。
      - ・近くに適当な建物がない場合は，物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
    - ②自動車等の車内にいる場合
      - ・ガソリンに引火するおそれがあるため，車を止めて建物（できれば頑丈な建物）の中，又は地下などに避難する。
      - ・周囲に避難できる頑丈な建物がない場合は，車から離れて地面に伏せ頭部を守る。

- ・車外に出ると危険な場合やすぐに車外に出られない場合は、車内で姿勢を低くして頭部を守る。
- ・公共交通機関利用時は、運転手や係員の指示に従う。

### (3) 休日・夜間等

#### ①屋外にいる場合

- ・近くの建物（できれば頑丈な建物）の中，又は地下に避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は，物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。

#### ②屋内にいる場合

- ・窓のない部屋に移動する。
- ・窓がある部屋にいる場合，カーテンを引いてできるだけ窓から離れる。

## 2 近くにミサイルが着弾したら

### (1) 共通

#### ①屋外にいる場合

- ・口と鼻をハンカチ等で覆い，現場から直ちに離れ，密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

#### ②屋内にいる場合

- ・換気扇を止め，窓を閉め，目張りをして室内を密閉する。

### <事後>

- 1 情報収集に努め，高校教育課からの指示があればそれに従う。
- 2 休校等の判断については，次のとおりとする。

#### (1) Jアラート情報（第2報以降）等

##### ①日本の領土・領海に落下する可能性がある」と判断した場合

・・・・・・・・休校とすることを検討する

- ・第2報「直ちに避難することの呼びかけ」
- ・第3報「落下推定情報」

##### ②日本の領土・領海の上空を通過した場合

- ・第2報「ミサイル通過情報」

ア関東地方を通過・・・・・・・・・・・・・・・・休校とすることを検討する

イそれ以外の地域を通過・・・・・・・・・・・・・・・・登校させることを検討する

##### ③日本の領海外に落下した場合・・・・・・・・登校させることを検討する

- ・第2報「落下推定情報」

- 3 児童生徒等の安否を確認し，必要に応じて保護者へ安否情報の伝達等を行う。
- 4 必要に応じて保護者へ生徒の引き渡しを行う。
- 5 高校教育課に対し状況報告を行う。

【参考】「国民保護ポータルサイト」（内閣官房）<http://www.kokuminhogo.go.jp/>